

http://www

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan)

ニュースレター

2021年11月発行
第6号

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> toyoshi@io.ocn.ne.jp (長谷川)
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470 (TEL&FAX、長谷川)

「小さな一歩」

運営委員 永井敏夫

この号の内容

- 1 「小さな一歩」(永井敏夫)
- 2 「救われるために善は行いませんが、善を行うために救われました」(ラン牧師)
「ベトナムの友人たち」
(太田邦恵)
- 3 同上
- 4 国内ベトナム語礼拝ニュース
入会と支援献金のお願い
会計報告

日本に45万人とも言われているベトナム人は日本各地で生活している。みなさんの周りにもきっとおられることと思う。

10月中旬に東海地域でMさんに会った。長い間、日本国際ギデオン協会の会員として歩んでおられる器だ。彼の元にギデオンのベトナム語新約聖書があった。毎日朝と夕べに、家の前を数人のベトナム人の若者たちが通っているのを知った彼は祈りの中でベトナム語聖書を渡したいという思いが与えられた。彼は御茶ノ水にあるギデオン協会事務局に早速コンタクトをし、聖書を手に入れたのだという。主がベトナム人の若者とMさんとの出会いをベストのタイミングで導いてくださろうとしている。

Mさんに会ったのを受け、私は長谷川先生と一緒に11月5日、日本国際ギデオン協会事務局に伺い正副総主事と意見交換の時を持った。(写真参照)本部事務局では2020年のオリンピック・パラリンピックを契機に外国語聖書を配布しようというプロジェクトが計画されていた。それを受け現在は、事務局に韓国語、中国語、ネパール語、ギリシャ語、スペイン語、ポルトガル語、スペイン語そしてベトナム語の聖書が保管されているそうだ。頂いたちらしには「皆様の地域・教会で、個人伝道のために、ご活用ください！」と記されていた。写真の長谷川先生と私が持っているのがベトナム語聖書で、縦が13センチ、横が9センチと手のひらに載るポケットサイズだ。(提供価格は1冊270円)

VBTJは日本にいるベトナム人たちに福音を届けたいと祈りながら活動をしている団体だ。ギデオン協会は会員が直接聖書をひとに手渡すことを原則としている。今後前述の正副総主事と協議をしながら、両者が良い協力関係のもとに聖書を人々に届けていけますようにと私は祈っている。こうして小さな一歩がスタートしようとしている。みなさんの周りにはベトナム人たちにも福音が届いていきますようにと、Mさんのようにあなたにも祈って欲しい。

＋一般財団法人日本国際ギデオン協会

www.gideonns-jp.org

みなさんの周りには
ベトナム人たちにも福音が
届いていきますようにと、
・・・あなたも祈って欲しい。



「救われるために善は行いませんが、善を行うために救われました」

インマヌエル教会 ラン牧師 @ホーチミン市

コロナ禍が始まってからも国境封鎖でベトナムはうまくやり過ごしてきましたが、今年5月に入ってからホーチミン市内で拡大し、6月から不要不急の外出が禁止され、7月から実質的な都市封鎖(外出禁止)に入りました。最も影響を受けたその都市の中の最悪の場所に私たちの教会は位置しています。

私たちの教会は270枝教会を持つ教団のベトナム南部の中心教会で薬物中毒からの更生中の30人の信徒が教会内に住んでいます。まず7月に彼ら全員がコロナに罹りました。その頃から数百m先の誰が亡くなったとか相当な数の死亡者情報が聞こえてきました。また近隣の多くの人たちが、仕事を失い、預金を失い、健康を失い、そして絶望していました。

私たちは礼拝できていればそれで良いという教会ではありません。祈り、そして、教団全体に信徒一人500円を捧げてほしいと檄を飛ばしました。結果、特に都市部の信徒が多額の献金をしてくれました。

30人の信徒がコロナから回復した8月から、私たちは100トンのコメ、そして肉、野菜、子供用ミルクなど、さまざま配りました。薬も配りました。酸素吸入器も用意しました。2台のトラックと4台の車で夜中まで働きました。慣れてないので目的地に到着するところから問題でしたがどう巡ったら効率的かも、やりながら学習しました。

困窮している人たち全員を救いたいとホットラインを開設し広報しました。連絡をくれた人たち全員に食料を配布しました。配布している写真と記事は、

<https://phucamtoanven.com/duc-tin-ma-that-nghiep/>

政府も協力的でした。いろいろありましたが、)

外出禁止令が解けて1か月が過ぎた10月末の時点でも、困窮している人は多数います。ピーク時の半分くらいですが、まだ1日80か所に配布しています。

今、チョーライ病院などの大病院と話をしています。病人を看護している家族の食事が問題で、私たちはコロナ禍が解決するまで“調理された食事”をギフトしたいと思っています。設備や調理人が必要です。主が必要を充たしてくださるよう、ともに祈りください。

聖霊は知恵と一致を与えてくださいます。皆様の教会にも主の豊かな恵みがありますように。



中央がラン牧師(教団長の奥様)

「ベトナムの友人たち」

森聖泉キリスト教会牧師 太田邦恵

静岡県の西部地域、東海道から北に向かった山あいの町、森町にある「森聖泉キリスト教会」牧師の太田邦恵(男性)です。私たちのいわゆる田舎の教会を、近くの子供連れの大きな会社の派遣社員として働いていたベトナム人のミー君が、ある聖日の朝、礼拝のために訪問してくれました。確かに日本人ではないが、東南アジアのどこかの国の若者で、教会の近辺では日常的に見かけていた姿ですが、ベトナム人で、クリスチャンで、3年間の期間限定で研修という形で仕事をしている事を理解するのには少し時間がかかりました。彼らは総じて真面目で、謙虚で、みんな一生懸命日本語の勉強をしていました。ミー君の場合は、3ヶ月ほど大阪方面の語学学校で学んでからこの森町に配属されたようです。なのでまだまだ日本にも日本語にも慣れていない様子でした。

それから、礼拝はほとんど欠かさず来ていましたし、そのうちベトナムの友人3人組、ミー君、ナム君、カイン君、そして女の娘(こ)のホアちゃんが次々に加わり、もともと少人数の礼拝を守ってきた私たちには願ってもない若者たちと毎週礼拝を共に献げる事が出来て、大変楽しい時でした。

楽しみは他にもありました。それは会食の時です。教会の午後の活動、また奉仕の場合は教会で昼食と一緒に頂いてからする事が多いのですが、カレーだったり、パスタだったり、会社の用意した寮で共同で自炊の生活をしていた彼らにとっては御馳走のランチだったようです。楽しく会食をしました。そんな事が何回かあった後 次はベトナム

の料理をみなさんに御馳走すると言って、4人で朝から教会のキッチンで調理をはじめ、礼拝には顔を出せずに調理し続け、お昼にやっと間に合って、礼拝出席者全員にベトナムランチを御馳走してくれました。

4人のうちのナム君は料理の経験があったらしく、何やら手の凝ったベトナム料理にみんな大喜びで、そのうちの牛肉スープはいまでは我が家の定番料理になっています。

今はコロナ禍で、飲食は自粛状態が続いていますが、ベトナムの友人たちと何かにつけては会食していた当時の様子はとても良い思い出になっています。

彼らの勉強熱心さは大したもの、会社での日本語検定、漢字テスト、日本語スピーチコンテスト等に向けて、夜昼の交代勤務のかたわら日本語を学んでいました。それで教会でもスピーチを証しとしてお願いしたり、礼拝メッセージのポイントになる言葉を分かり易く掘り下げながら解説したり、彼らが少しでも理解できるように工夫をしました。

その他にも、卓球大会、バンドでの音楽活動、音楽礼拝では4人でベトナム語の讃美歌を披露してくれました。

その当時は教会の活動には、必ずベトナム4人組のプログラムが用意されました。

そうしている内にも3年間の研修期間は過ぎて行き、帰国して別れていた家族に会える喜びと、日本で知り合った新しい家族との別れを惜しみながらそれぞれ旅立って行きました。

その度ごと「お別れ会」と称して持ち寄り手料理で会食し、精一杯送りだしました。

このような時代ですから今でも時々SNSでやり取りをしています。当時はまだ20歳前後だった彼らも結婚したり、その後日本に関わる仕事に就いた人もいます。

彼らにはこの日本での研修期間での経験が、その後の人生に良い影響を与えられるように願っています。



国内ベトナム語礼拝ニュース

(東京)

7月は東京ベトナム語礼拝の2周年をみんなで祝いました。

8月には奥多摩バイブルシャレーでキャンプ(写真参照)を行うことができました。参加者は24名で、一緒に聖書勉強をしたり、交わりやとりなしの祈りをしたり、ゲームをしたりして、楽しい時間を過ごせました。キャンプの最終日に一人の未信者の女性が信仰の告白をしました。その女性はキャンプの時から教会の礼拝に参加しています。



(名古屋)

コロナの影響で7～10月は教会での礼拝ができなくなりました。そんな中7月には公園で礼拝を行い、12名が参加しました。(写真参照) 8月～10月はZOOMでオンライン礼拝を行いました。オンライン礼拝の参加者は平均17名ぐらいでした。

礼拝は普段午後2時30分に開催され、日付は決まっています。教会の兄弟姉妹の仕事の都合で礼拝の日時を調整します。通常は月の第1または第2の日曜日に行います。



(大阪)

韓国インチョンのボッサラン教会ベトナム青年たちとの連合礼拝がオンラインで行われました。(写真1)

青年会の1泊2日の夏のキャンプが参加者22名で行われました。(写真2)

9月25日から兵庫県尼崎市で新しいセルグループ家庭礼拝(月1、2回)がスタートしました。(写真3)



(写真1)



(写真2)



(写真3)

入会と支援献金のお願い

VBTJでは正会員となって下さる個人・教会・団体を引き続き募集しています。年会費は1口5000円です。

また VBTJ では、無償で送るベトナム語聖書とベトナム語版三浦綾子書籍の配布の他にも、以下の活動を行っています。

- 1)ベトナム語キリスト教書籍の作成
- 2)日本の教会の在日ベトナム人宣教への支援
- 3)在日ベトナム人教会への支援

ご支援いただける方、ご連絡いただき、以下の口座まで会費または献金を送金いただけましたら幸いです。

ゆうちょ銀行 記号 10300 番号 94675701

他銀行からの場合 店名 O三八(ゼロサンハチ)

店番 038 普通 9467570

会計報告(2021年7～10月)

(収入)	会費納入	50,000円
	支援献金	15,000円
	前回繰越金	647,302円
	利子	2円
	計	712,304円
(支出)	郵送代	14,562円
	印刷代	29,620円
	文具費	2,131円
	振込手数料	540円
	交通費	6,600円
	PHAM NGO	50,000円
	活動補助費	20,000円
	計	123,453円
(収入)－(支出)		588,851円